

【第1回ごみ焼却施設等における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。
また、大宮南部浄化センターの肥料汚泥については、200Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 三菱マテリアルテクノ株式会社 環境技術センター
(大宮南部浄化センターは中外テクノス株式会社)
- ・測定方法 ゲルマニウム半導体検出器を用いた
ガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析方法

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日 (H23)	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	7月6日	不検出 (10)	201	250	451
	固化灰	7月6日	不検出 (10)	628	754	1,382
	熔融スラグ	7月6日	不検出 (10)	44	50	93
東部環境 センター	焼却灰	7月6日	不検出 (10)	190	217	407
	固化灰	7月6日	不検出 (10)	933	1,220	2,153
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	7月6日	不検出 (10)	97	114	211
	飛灰	7月6日	不検出 (10)	1,140	1,420	2,560
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	7月6日	不検出 (10)	149	200	349
	固化灰	7月6日	不検出 (10)	557	682	1,239
岩槻環境センター	焼却灰	7月6日	不検出 (10)	211	281	492
	固化灰	7月6日	不検出 (10)	803	1,000	1,803
大宮南部浄化 センター	脱水汚泥	7月6日	不検出 (10)	56	54	110
クリーンセンター 西堀	汚泥焼却灰	7月6日	不検出 (10)	376	465	841

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えながら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ:焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設等における空間放射線量測定結果について】

各地点の空間放射線量は、1時間当たり0.07から0.15マイクロシーベルトの範囲にあり、年間の被ばく予測染料を試算した結果、すべての地点で国際放射線防護委員会(ICRP)が勧告をした一般公衆の線量限度である年間1ミリシーベルトを下回りました。

- ・測定機名 シンチレーションサーベイメーター
CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定高さ 地上5cm、50cm、1m(灰搬出場所は1mのみ)
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及び灰搬出場所

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	採取日 (H23)	敷地境界				灰搬出場所
			東	西	南	北	
西部環境 センター	10月11日	1m	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07
		50cm	0.08	0.08	0.07	0.07	
		5cm	0.09	0.10	0.09	0.09	
東部環境 センター	10月11日	1m	0.09	0.10	0.09	0.09	0.08
		50cm	0.08	0.10	0.09	0.10	
		5cm	0.10	0.12	0.10	0.11	
クリーン センター 大崎	10月11日	1m	0.05	0.07	0.06	0.08	0.04
		50cm	0.06	0.07	0.06	0.08	
		5cm	0.07	0.08	0.07	0.10	
岩槻環境 センター	10月11日	1m	0.07	0.10	0.08	0.07	0.10
		50cm	0.07	0.11	0.09	0.07	
		5cm	0.08	0.15	0.11	0.08	

【第2回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 三菱マテリアルテクノ株式会社 環境技術センター
- ・測定方法 ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	7月28日	不検出	128	168	296
	固化灰	7月28日	不検出	432	517	949
	溶融スラグ	7月28日	不検出	35.3	46.3	81.6
東部環境センター	焼却灰	7月28日	不検出	169	214	383
	固化灰	7月28日	不検出	854	1080	1934
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	7月28日	不検出	72.0	92.5	164.5
	飛灰	7月28日	不検出	837	1010	1847
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	7月28日	不検出	132	168	300
	固化灰	7月28日	不検出	464	596	1060
岩槻環境センター	焼却灰	7月28日	不検出	194	251	445
	固化灰	7月28日	不検出	595	748	1343

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【第3回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	8月23日	不検出	46	62	108
	固化灰	8月23日	不検出	370	420	790
	溶融スラグ	8月23日	不検出	47	55	102
東部環境センター	焼却灰	8月23日	不検出	81	99	180
	固化灰	8月23日	不検出	650	740	1390
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	8月23日	不検出	38	42	80
	飛灰	8月23日	不検出	430	520	950
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	8月23日	不検出	65	79	144
	固化灰	8月23日	不検出	330	410	740
岩槻環境センター	焼却灰	8月23日	不検出	140	180	320
	固化灰	8月23日	不検出	470	540	1010

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【第4回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	9月14日	不検出	110	170	280
	固化灰	9月14日	不検出	190	210	400
	溶融スラグ	9月14日	不検出	13	19	32
東部環境センター	焼却灰	9月14日	不検出	120	150	270
	固化灰	9月14日	不検出	610	750	1360
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	9月14日	不検出	87	110	197
	飛灰	9月14日	不検出	810	980	1790
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	9月14日	不検出	110	130	240
	固化灰	9月14日	不検出	380	460	840
岩槻環境センター	焼却灰	9月14日	不検出	130	160	290
	固化灰	9月14日	不検出	610	720	1330

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【第5回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エスエス環境株式会社
- ・測定方法 緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	10月11日	不検出	27	43	70
	固化灰	10月11日	不検出	420	540	960
	溶融スラグ	10月11日	不検出	26	17	43
東部環境 センター	焼却灰	10月11日	不検出	110	120	230
	固化灰	10月11日	不検出	660	820	1480
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	10月11日	不検出	89	110	199
	飛灰	10月11日	不検出	900	1100	2000
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	10月11日	不検出	120	150	270
	固化灰	10月11日	18	370	460	830
岩槻環境 センター	焼却灰	10月11日	不検出	190	250	440
	固化灰	10月11日	不検出	490	610	1100

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定器名 シンチレーションサーベイメーター ※1
CsI(Tl)シンチレーション検出器 ※2
- ・測定高さ 地上5cm、50cm、1m(灰搬出場所は1mのみ)
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及び灰搬出場所

単位: $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				灰搬出場所
			東	西	南	北	
西部環境 センター ※1	10月11日	1m	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07
		50cm	0.08	0.08	0.07	0.07	
		5cm	0.09	0.10	0.09	0.09	
東部環境 センター ※1	10月11日	1m	0.09	0.10	0.09	0.09	0.08
		50cm	0.08	0.10	0.09	0.10	
		5cm	0.10	0.12	0.10	0.11	
クリーン センター 大崎 ※1	10月11日	1m	0.05	0.07	0.06	0.08	0.04
		50cm	0.06	0.07	0.06	0.08	
		5cm	0.07	0.08	0.07	0.10	
岩槻環境 センター ※2	10月11日	1m	0.07	0.10	0.08	0.07	0.10
		50cm	0.07	0.11	0.09	0.07	
		5cm	0.08	0.15	0.11	0.08	

【第6回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	11月8日	不検出	29	34	63
	固化灰	11月8日	不検出	630	800	1430
	熔融スラグ	11月8日	不検出	11	16	27
東部環境 センター	焼却灰	11月8日	不検出	80	100	180
	固化灰	11月8日	不検出	510	640	1150
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	11月8日	不検出	58	88	146
	飛灰	11月8日	不検出	690	810	1500
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	11月8日	不検出	44	74	118
	固化灰	11月8日	不検出	350	440	790
岩槻環境 センター	焼却灰	11月8日	不検出	120	130	250
	固化灰	11月8日	不検出	400	480	880

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ:焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

・測定器名 Csl(Tl)シンチレーション検出器

・測定高さ 地上5cm、50cm、1m(灰搬出場所は1mのみ)

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及び灰搬出場所

単位: $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				灰搬出場所
			東	西	南	北	
西部環境センター	11月8日	1m	0.07	0.08	0.07	0.07	0.07
		50cm	0.08	0.08	0.08	0.08	
		5cm	0.08	0.09	0.07	0.10	
東部環境センター	11月8日	1m	0.09	0.10	0.07	0.09	0.08
		50cm	0.09	0.10	0.08	0.09	
		5cm	0.11	0.12	0.08	0.11	
クリーンセンター大崎	11月8日	1m	0.08	0.09	0.09	0.10	0.06
		50cm	0.09	0.08	0.09	0.11	
		5cm	0.10	0.09	0.11	0.11	
岩槻環境センター	11月8日	1m	0.07	0.12	0.11	0.09	0.09
		50cm	0.08	0.11	0.07	0.08	
		5cm	0.09	0.18	0.13	0.10	

【第7回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	12月5日	不検出	36	45	81
	固化灰	12月5日	不検出	160	200	360
	溶融スラグ	12月5日	不検出	12	15	27
東部環境 センター	焼却灰	12月5日	不検出	76	89	165
	固化灰	12月5日	不検出	420	590	1010
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	12月5日	不検出	66	82	148
	飛灰	12月5日	不検出	480	580	1060
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	12月5日	不検出	61	72	133
	固化灰	12月5日	不検出	230	320	550
岩槻環境 センター	焼却灰	12月5日	不検出	97	130	227
	固化灰	12月5日	不検出	400	500	900

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えながら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定器名 Csl(T1)シンチレーション検出器
- ・測定高さ 地上5cm、50cm、1m(灰搬出場所は1mのみ)
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及び灰搬出場所

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				灰搬出場所
			東	西	南	北	
西部環境センター	12月5日	1m	0.08	0.07	0.07	0.07	0.08
		50cm	0.08	0.08	0.08	0.08	
		5cm	0.07	0.09	0.09	0.07	
東部環境センター	12月5日	1m	0.09	0.09	0.07	0.10	0.07
		50cm	0.09	0.09	0.08	0.10	
		5cm	0.09	0.11	0.09	0.09	
クリーンセンター大崎	12月5日	1m	0.08	0.10	0.09	0.09	0.07
		50cm	0.09	0.10	0.10	0.12	
		5cm	0.11	0.13	0.10	0.13	
岩槻環境センター	12月5日	1m	0.07	0.08	0.07	0.08	0.08
		50cm	0.07	0.09	0.06	0.08	
		5cm	0.09	0.12	0.07	0.10	

【第8回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	12月27日	不検出	47	67	114
	固化灰	12月27日	不検出	210	270	480
	熔融スラグ	12月27日	不検出	11	20	31
東部環境 センター	焼却灰	12月27日	不検出	68	95	163
	固化灰	12月27日	不検出	470	610	1080
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	12月27日	不検出	29	52	81
	飛灰	12月27日	不検出	580	680	1260
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	12月27日	不検出	71	83	154
	固化灰	12月27日	不検出	240	340	580
岩槻環境 センター	焼却灰	12月27日	不検出	94	120	214
	固化灰	12月27日	不検出	450	500	950

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えながら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

・測定器名 Csl(Tl)シンチレーション検出器

・測定高さ 地上5cm、50cm、1m(灰搬出場所は1mのみ)

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及び灰搬出場所

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				灰搬出場所
			東	西	南	北	
西部環境センター	12月27日	1m	0.07	0.07	0.07	0.07	0.08
		50cm	0.07	0.07	0.08	0.07	
		5cm	0.09	0.09	0.08	0.09	
東部環境センター	12月27日	1m	0.09	0.10	0.08	0.10	0.08
		50cm	0.09	0.10	0.09	0.10	
		5cm	0.10	0.11	0.09	0.11	
クリーンセンター大崎	12月27日	1m	0.08	0.10	0.10	0.10	0.06
		50cm	0.09	0.11	0.10	0.11	
		5cm	0.11	0.12	0.13	0.12	
岩槻環境センター	12月27日	1m	0.07	0.09	0.08	0.08	0.07
		50cm	0.08	0.10	0.08	0.08	
		5cm	0.10	0.12	0.07	0.11	

【第9回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	1月24日	不検出	17	21	38
	固化灰	1月24日	不検出	290	380	670
	溶融スラグ	1月24日	不検出	不検出	11	11
東部環境 センター	焼却灰	1月24日	不検出	41	45	86
	飛灰	1月24日	不検出	330	420	750
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	1月24日	不検出	24	28	52
	飛灰	1月24日	不検出	230	290	520
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	1月24日	不検出	25	49	74
	固化灰	1月24日	不検出	180	250	430
岩槻環境 センター	焼却灰	1月24日	不検出	48	60	108
	固化灰	1月24日	不検出	210	290	500

※不検出:検出限界値未満を表す

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）

・測定器名 Csl(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	1月4日	1m	0.07	0.06	0.07	0.07	0.07
	1月13日	1m	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07
	1月20日	1m	0.06	0.07	0.07	0.06	0.07
	1月27日	1m	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07
東部環境 センター	1月4日	1m	0.09	0.09	0.08	0.10	0.10
	1月13日	1m	0.09	0.10	0.09	0.10	0.10
	1月20日	1m	0.09	0.10	0.08	0.10	0.10
	1月27日	1m	0.09	0.10	0.08	0.10	0.10
クリーン センター 大崎	1月4日	1m	0.08	0.10	0.09	0.10	0.08
	1月13日	1m	0.07	0.08	0.09	0.10	0.07
	1月20日	1m	0.08	0.09	0.09	0.10	0.08
	1月27日	1m	0.08	0.08	0.08	0.10	0.08
岩槻環境 センター	1月4日	1m	0.09	0.12	0.12	0.09	0.09
	1月13日	1m	0.08	0.10	0.06	0.07	0.07
	1月20日	1m	0.07	0.10	0.06	0.07	0.07
	1月27日	1m	0.06	0.08	0.05	0.06	0.06

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における放流水の放射能濃度測定結果について】

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

放流水の放射能濃度測定結果

単位:Bq/L

施設名	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	1月24日	不検出	不検出	不検出	不検出
東部環境 センター	1月24日	不検出	不検出	不検出	不検出
クリーンセンター大崎 第一工場	-	-	-	-	-
クリーンセンター大崎 第二工場	1月24日	不検出	不検出	不検出	不検出
岩槻環境 センター	-	-	-	-	-

※不検出:検出限界値未満を表す

※「-」の工場は放流実績が無いため、測定していません。

【第10回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	2月21日	不検出	31	53	84
	固化灰	2月21日	不検出	370	510	880
	熔融スラグ	2月21日	不検出	不検出	7.9	7.9
東部環境 センター	焼却灰	2月21日	不検出	39	31	70
	飛灰	2月21日	不検出	340	500	840
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	2月21日	不検出	24	30	54
	飛灰	2月21日	不検出	360	500	860
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	2月21日	不検出	28	31	59
	固化灰	2月21日	不検出	160	230	390
岩槻環境 センター	焼却灰	2月21日	不検出	21	58	79
	固化灰	2月21日	不検出	190	290	480

※不検出: 検出限界値未満を表す

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	2月21日	1m	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
東部環境 センター	2月21日	1m	0.09	0.10	0.08	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	2月21日	1m	0.08	0.08	0.08	0.10	0.08
岩槻環境 センター	2月22日	1m	0.07	0.10	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における排ガスの放射能濃度測定結果について】

- ・測定機関 株式会社環境管理センター
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

排ガスの放射能濃度測定結果

単位:Bq/m³(N)

施設名	号炉	採取日	試料名	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	1号炉	2月3日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	2号炉	2月3日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	3号炉	3月9日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
東部環境 センター	1号炉	2月1日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	2号炉	1月31日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	3号炉	1月31日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
クリーンセンター大崎 第一工場	1号炉	2月14日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	2号炉	2月14日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
クリーンセンター大崎 第二工場	1号炉	2月20日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	2号炉	1月25日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	3号炉	2月20日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
岩槻環境 センター	1号炉	2月17日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出
	2号炉	1月31日	ろ紙部	不検出	不検出	不検出
			ドレン部	不検出	不検出	不検出

※不検出:検出限界値未満を表す

【第11回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 エヌエス環境株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	3月14日	不検出	32	46	78
	固化灰	3月14日	不検出	48	62	110
	溶融スラグ	3月14日	不検出	不検出	不検出	不検出
東部環境 センター	焼却灰	3月14日	不検出	22	47	69
	飛灰	3月14日	25	340	460	800
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	3月14日	不検出	26	49	75
	飛灰	3月14日	不検出	250	320	570
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	3月14日	不検出	46	56	102
	固化灰	3月14日	不検出	130	210	340
岩槻環境 センター	焼却灰	3月14日	不検出	41	66	107
	固化灰	3月14日	不検出	170	260	430

※不検出: 検出限界値未満を表す

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位： $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	3月14日	1m	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	3月14日	1m	0.08	0.09	0.08	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	3月14日	1m	0.07	0.08	0.09	0.11	0.07
岩槻環境 センター	3月14日	1m	0.08	0.10	0.07	0.07	0.08

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界